

企業局

議案第30号 令和7年度大津市下水道事業会計予算について

それでは議案第30号、令和7年度大津市下水道事業会計予算につきまして、ご説明申し上げます。

予算書の5ページをお願いいたします。

第2条、業務の予定量です。

処理戸数は、15万7,200戸、年間総処理水量は、4,689万5千 m^3 、1日の平均処理水量は、12万8,479 m^3 です。

主要な建設改良事業は、記載のとおりです。

第3条、収益的収入及び支出につきましては、後ほど予算説明書の予算実施計画で内容を説明いたしますが、収入予定合計額は、111億1,723万円、支出予定合計額は、95億4,596万円です。

第4条、資本的収入及び支出につきましても、後ほど予算説明書の予算実施計画で内容を説明いたしますが、収入予定合計額は、25億7,974万円です。

6ページをお願いいたします。

支出予定合計額は、77億700万円で、5ページの条文のカッコ内に記載しておりますとおり、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額51億2,726万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3億1,552万円、過年度分損益勘定留保資金48億1,174万円で、補てんするものです。

再び6ページをお願いいたします。

第5条、債務負担行為は、4点ございます。

1点目の大津終末処理場管理棟1号揚水ポンプ改築事業は、下水道ストックマネジメント計画に基づく揚水ポンプの改築更新に伴うもの、2点目の下阪本第2中継ポンプ場流入ゲート設備改築事業は、大雨時対応のため、既設流入ゲートの遠隔操作可能な電動ゲートへの更新に伴うもの、3点目の令和7年度中継ポンプ場電気設備改築事業は、蓄電池盤等、下水道ストックマネジメント計画に基づく改築更新に伴うもの、4点目の第1期大津終末処理場非常用自家発電機設備改築事業は、自家発電機設備を構成する全ての機器の全面改築に伴うものです。

第6条、企業債の限度額は、11億400万円で、起債の方法等は記載のとおりです。

第7条、一時借入金の限度額は、30億円です。

第8条、予定支出の各項の経費の金額の流用は、記載のとおりです。

第9条、議会の議決を経なければ流用することのできない経費は、職員給与費及び交際費で、金額は記載のとおりです。

次に、第3条及び第4条について予算説明書で説明いたしますので、45ページの令和7年度大津市下水道事業会計予算実施計画をご覧ください。

最初に、収益的収入及び支出のうち、収入ですが、款1下水道事業収益は、111億1,723万円です。

項1営業収益、目1下水道使用料は、下水道使用料収入、目2雨水処理負担金は、雨水処理に対する一般会計からの負担金、目3その他営業収益は、再生水等の供給に係る利用料や下水道排水設備指定工事店登録手数料等です。

項2営業外収益、目1受取利息及び配当金は、預金利息ほか、目2他会計負担金は、汚水処理及び資本費等に対する一般会計からの負担金、目3他会計補助金は、事業活動に対する一般会計からの補助金、目4国県等補助金は、社会資本整備総合交付金等、国・県からの補助金、目5長期前受金戻入は、建設改良費の財源として受け入れた補助金等を減価償却の期間に合わせて収益化するもの、目6

雑収益は、区域外流入負担金、土地建物貸付料等です。

項 3 特別利益、目 1 固定資産売却益及び、目 2 過年度損益修正益は、いずれも科目設定です。

4 6 ページをお願いいたします。

次に、支出です。

款 1 下水道事業費用は、9 5 億 4, 5 9 6 万円です。

項 1 営業費用、目 1 管渠費は、管渠の維持管理に要する費用、目 2 ポンプ場費は、中継ポンプ場の維持管理に要する費用、目 3 処理場費は、終末処理場の運転管理に要する費用、目 4 流域下水道管理費は、琵琶湖流域下水道維持管理負担金ほか、目 5 業務費は、下水道使用料の調定、徴収及び水洗化普及促進等に要する費用、目 6 総係費は、下水道事業活動全般に関連する費用、目 7 減価償却費は、固定資産減価償却費、目 8 資産減耗費は、固定資産除却費等、目 9 その他営業費用は、雨水貯留浸透施設設置助成金です。

項 2 営業外費用、目 1 支払利息及び企業債取扱諸費は、企業債償還に伴う利息分ほか、目 2 雑支出は、還付加算金ほか、目 3 消費税及び地方消費税は、納税相当分です。

項 3 特別損失、目 1 固定資産売却損及び、目 2 過年度損益修正損は、いずれも科目設定です。

このほか、予備費を計上しております。

47ページをお願いいたします。

資本的収入及び支出のうち、収入ですが、款1資本的収入は、25億7,974万円です。

項1企業債、目1企業債は、下水道事業に対する企業債、項2負担金、目1負担金は、受益者負担金及び工事負担金、項3出資金、目1他会計出資金は、企業債償還元金等に対する一般会計からの出資金、項4補助金、目1国県等補助金は、社会資本整備総合交付金等、国からの補助金、項5固定資産売却代金、目1固定資産売却代金は、科目設定です。

48ページをお願いいたします。

次に、支出です。

款1資本的支出は、77億700万円です。

項1建設改良費、目1汚水建設事業費は、汚水管渠築造工事、終末処理場整備工事ほか、目2雨水建設事業費は、雨水管渠築造工事ほか、目3建設事業事務費は、建設事業に係る人件費等の事務費です。

項2企業債償還元金、目1企業債償還元金は、企業債元金の償還に要する資金です。

49ページからは、予定キャッシュ・フロー計算書など説明書類を添付しておりますが、説明は省略させていただきます。

以上、令和7年度大津市下水道事業会計予算の説明とさせていただきます。